

特別支援教育課便り

教職員・幼児児童生徒・保護者を応援します！

サポ-ト

NO. 149号

平成30年1月23日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

平成29年度特別支援教育に関する実践研究充実事業

秋田県では、平成29年度から2年間継続して「特別支援教育に関する実践研究充実事業（新学習指導要領に向けた実践研究）※文部科学省委託」に取り組んでいます。

新特別支援学校学習指導要領等の円滑な実施に向け、比内支援学校、かづの校、たかのす校、大曲支援学校、せんぼく校を研究協力校として指定し、「社会に開かれた教育課程」と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践研究を進めています。

「社会に開かれた教育課程」については、地域の人的、物的資源を生かした学習活動の工夫や指導計画の検証を行うとともに、保護者や地域の人材等と一緒に授業評価の機会を設定するなど、自校の特色を生かした教育課程の編成につなげていきます。教育課程の編成に当たっては、キャリア教育全体計画に基づき、小・中・高等部の学部間のつながりを重視しながら進めていきます。

「主体的・対話的で深い学び」については、その視点を踏まえ、各教科等間の関連付けを意識した年間指導計画、単元構成、授業デザイン等の検討を重ねカリキュラム・マネジメントの方策を探るとともに、板書計画、発問、教材研究、環境設定、目標設定や評価の在り方等、授業づくりの基礎・基本から見直し、授業改善を進めていきます。

12月には、比内支援学校と大曲支援学校の2校の公開研究会が実施され、研究の成果を全県に発信し、これまでの取組の要点について共有することができました。

大曲支援学校 12月1日（金）

研究主題 「分かる、できる、振り返る」授業づくり

「分かる（何を学ぶか）、できる（どのように学ぶか）、振り返る（何を学んだか、どんな力が身に付いたか）」の授業づくりの視点を定め、全職員で日常的に授業提示と協議、改善を重ねてきました。

めあてとまとめの提示や学習過程が分かる板書計画について、学校で標準化されるなど、授業づくりの基礎・基本に基づく評価・改善が図られるようになりました。



昼休みに行われた寄宿舎生によるコーヒーと自家製ブルーベリージャム添えクラッカーの提供

比内支援学校 12月13日(水)

研究主題 「児童生徒の「学び」と「学んだことの活用」を生み出す授業づくり
～「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて～

目標の設定と評価に「観点別学習状況の評価」を取り入れ、授業づくりを行ってきました。

評価の観点に基づき、児童生徒が、何を、どのように学んだのか、学んだことが他の場面でどのように活用されているのか、エピソード記録を積み重ねたことで、変容が捉えやすくなり、指導の系統性や関連性が見えやすくなりました。



全体会での生徒による実践発表
「地域の中で、私たちが学んだこと」

おめでとうございます

第11回キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰

キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等を対象とした「キャリア教育に関する文部科学大臣表彰」で、稲川支援学校が表彰されました。県内特別支援学校として、昨年度の比内支援学校に続き2年連続の表彰となりました。稲川支援学校のキャリア教育の実践については、次号で紹介する予定です。



文部科学大臣優秀教職員表彰

聴覚支援学校 佐藤操教諭が、平成29年度 文部科学大臣優秀教職員として表彰されました。



ありがとうございました

1月21日(日)に県立武道館を会場に開催された「バドミントンS/Jリーグ2017秋田大会」に、北都銀行様から観戦の御招待をいただきました。大会当日は、観戦を希望した県内特別支援学校関係者、約200名が、選手達へ応援と感謝の気持ちを込めて大きな声援を送りました。



原田利雄総監督が
来庁されました